

自尊心と承認欲求が大学生の恋人へのプレゼントにおける経済行動に与える影響

土師愛美 鈴木遥加 井上寛規 キムジョンウン

研究目的

個人の自尊心¹や承認欲求²などによる世界観³が恋人へのプレゼントを選ぶ際の行動にどのような影響を与えるかを調べる。大学生が恋人に手間のかかったプレゼントを贈ることで自尊心や承認欲求を満たしていることが観測できれば、大学生の間での経済行動の傾向および流行が把握できる。自尊心と承認欲求の強さとプレゼントにかける値段および手間に相関関係が見られれば、プレゼント用の商品を扱う企業が自尊心と承認欲求に訴えるような PR 方法をとることが効果的であることが分かる。

仮説研究

自尊心と承認欲求は恋人へのプレゼントにおける経済行動に統計的に有意な影響を与える。自尊心と承認欲求が強ければ、プレゼントにかける値段と手間をより多くかける

アンケート調査の方法

班員の知り合いの大学生 79 人に調査した。質問項目は、自尊心を問う YES/NO 項目 7 個、承認欲求を問う YES/NO 項目 7 個、プレゼントにかける金額、所得、プレゼントにかける手間と時間を問う項目 6 個だ。

アンケート分析の方法

自尊心に関する質問項目に Yes = 1 点, NO = 0 点と点数をつけて 7 項目の点数の合計を計算し、自尊心のスコアを算出した。

承認欲求に関する質問項目に YES = 1 点, NO = 0 点と点数をつけて 7 項目の点数の合計を計算し、承認欲求のスコアを算出した。

(プレゼント代/一か月の所得) x 10 とプレゼントにかける手間と時間に関する質問項目の点数の合計を計算し、プレゼントにおける経済行動のスコアを算出した。

自尊心、承認欲求、プレゼントの 3 つのデータを使って重回帰分析および単回帰分析をした。

回帰分析結果

1. 承認欲求（説明変数）と自尊心（ダミー変数）の 重回帰分析の場合

～2つの傾きのグラフが存在する場合～

$$Y = 14.54 - 0.4298 xi - 8.008 DI + 3.624 XIDI$$

回帰統計	
重相関 R	0.298456
重決定 R ²	0.089076
補正 R ²	0.052639
標準誤差	11.83017
観測数	79

分散分析表					
	自由度	変動	分散	F値	有意 F
回帰	3	1026.411	342.1369	2.444658	0.070533
残差	75	10496.47	139.9529		
合計	78	11522.88			

	係数	標準誤差	t	P-値	下限 95%	上限 95%	下限 95.0%	上限 95.0%
切片	14.54001	5.092732	2.855052	0.005562	4.394772	24.68526	4.394772	24.68526
X 値 1	-0.42983	1.297748	-0.33121	0.74141	-3.01507	2.15542	-3.01507	2.15542
X 値 2	-8.00764	6.728236	-1.19015	0.237739	-21.411	5.395692	-21.411	5.395692
X 値 3	3.623635	1.852987	1.955564	0.054242	-0.0677	7.314975	-0.0677	7.314975

2. 承認欲求（説明変数）と自尊心（ダミー変数）の 重回帰分析の場合

～同じ傾きのグラフしか存在しない場合～

$$Y = 8.053 + 1.348 Xi + 4.018 Di$$

回帰統計	
重相関 R	0.206466
重決定 R ²	0.042628
補正 R ²	0.017434
標準誤差	12.04797
観測数	79

分散分析表					
	自由度	変動	分散	F値	有意 F
回帰	2	491.1985	245.5993	1.691995	0.191014
残差	76	11031.68	145.1537		
合計	78	11522.88			

	係数	標準誤差	t	P-値	下限 95%	上限 95%	下限 95.0%	上限 95.0%
切片	8.052573	3.935154	2.046317	0.044184	0.215036	15.89011	0.215036	15.89011
X 値 1	1.347554	0.943381	1.42843	0.157265	-0.53135	3.22646	-0.53135	3.22646
X 値 2	4.018563	2.779702	1.445681	0.152378	-1.51769	9.554819	-1.51769	9.554819

3. 自尊心（説明変数）と承認欲求（ダミー変数）の 重回帰分析の場合

～2つの傾きのグラフが存在する場合～

$$Y = 3.782 + 1.011 Xi - 7.053 Di + 0.874 xidi$$

回帰統計								
重相関 R	0.267995							
重決定 R ²	0.071821							
補正 R ²	0.034694							
標準誤差	11.94169							
観測数	79							
分散分析表								
	自由度	変動	分散	F値	有意 F			
回帰	3	827.587	275.8623	1.934466	0.131257			
残差	75	10695.29	142.6039					
合計	78	11522.88						
	係数	標準誤差	t	P-値	下限 95%	上限 95%	下限 95.0%	上限 95.0%
切片	3.782473	10.4314	0.362605	0.71792	-16.9979	24.56288	-16.9979	24.56288
X 値 1	1.011151	1.007545	1.00358	0.318808	-0.99598	3.018283	-0.99598	3.018283
X 値 2	-7.05276	13.57133	-0.51968	0.604816	-34.0882	19.98271	-34.0882	19.98271
X 値 3	0.873662	1.332205	0.655801	0.513959	-1.78023	3.52755	-1.78023	3.52755

4. 自尊心（説明変数）と承認欲求（ダミー変数）の重回帰分析の場合

～同じ傾きのグラフしか存在しない場合～

$$Y = -1.310 + 1.511 X_i + 1.668 D_i$$

回帰統計								
重相関 R	0.257873							
重決定 R ²	0.066499							
補正 R ²	0.041933							
標準誤差	11.89683							
観測数	79							
分散分析表								
	自由度	変動	分散	F値	有意 F			
回帰	2	766.2565	383.1283	2.70696	0.073176			
残差	76	10756.62	141.5345					
合計	78	11522.88						
	係数	標準誤差	t	P-値	下限 95%	上限 95%	下限 95.0%	上限 95.0%
切片	-1.30995	6.939165	-0.18878	0.850771	-15.1305	12.51059	-15.1305	12.51059
X 値 1	1.510875	0.656686	2.300756	0.024149	0.202971	2.818779	0.202971	2.818779
X 値 2	1.66787	2.701431	0.617402	0.538815	-3.7125	7.048235	-3.7125	7.048235

5. 承認欲求（説明変数）の単回帰分析

- 自尊心が低いグループ：

$$Y = 14.54 - 0.4300 X_i$$

回帰統計								
重相関 R	0.156609							
重決定 R ²	0.024526							
補正 R ²	-0.00114							
標準誤差	4.008601							
観測数	40							
分散分析表								
	自由度	変動	分散	F値	有意 F			
回帰	1	15.35284	15.35284	0.95544	0.334521			
残差	38	610.6174	16.06888					
合計	39	625.9703						
	係数	標準誤差	t	P-値	下限 95%	上限 95%	下限 95.0%	上限 95.0%
切片	14.54001	1.72565	8.42582	3.18E-10	11.04662	18.03341	11.04662	18.03341
X 値 1	-0.42983	0.439736	-0.97747	0.334521	-1.32003	0.460372	-1.32003	0.460372

- ・ 自尊心が高いグループ :

$$Y = 6.532 + 3.193 X_i$$

回帰統計								
重相関 R	0.276136							
重決定 R ²	0.076251							
補正 R ²	0.051285							
標準誤差	16.3458							
観測数	39							
分散分析表								
	自由度	変動	分散	F値	有意 F			
回帰	1	816.0329	816.0329	3.054185	0.088825			
残差	37	9885.851	267.1851					
合計	38	10701.88						
	係数	標準誤差	t	P-値	下限 95%	上限 95%	下限 95.0%	上限 95.0%
切片	6.532373	6.075297	1.075235	0.289231	-5.77735	18.84209	-5.77735	18.84209
X 値 1	3.193808	1.827516	1.747623	0.088825	-0.50909	6.896707	-0.50909	6.896707

6. 自尊心 (説明変数) の単回帰分析

- ・ 承認欲求が弱いグループ :

$$Y = 3.782 + 1.011 X_i$$

回帰統計								
重相関 R	0.261136							
重決定 R ²	0.068192							
補正 R ²	0.044897							
標準誤差	7.004613							
観測数	42							
分散分析表								
	自由度	変動	分散	F値	有意 F			
回帰	1	143.6267	143.6267	2.927297	0.094839			
残差	40	1962.584	49.06461					
合計	41	2106.211						
	係数	標準誤差	t	P-値	下限 95%	上限 95%	下限 95.0%	上限 95.0%
切片	3.782473	6.118725	0.61818	0.539961	-8.58393	16.14888	-8.58393	16.14888
X 値 1	1.011151	0.590994	1.710935	0.094839	-0.18329	2.205594	-0.18329	2.205594

- ・承認欲求が強いグループ：

$$Y = -3.270 + 1.885 X$$

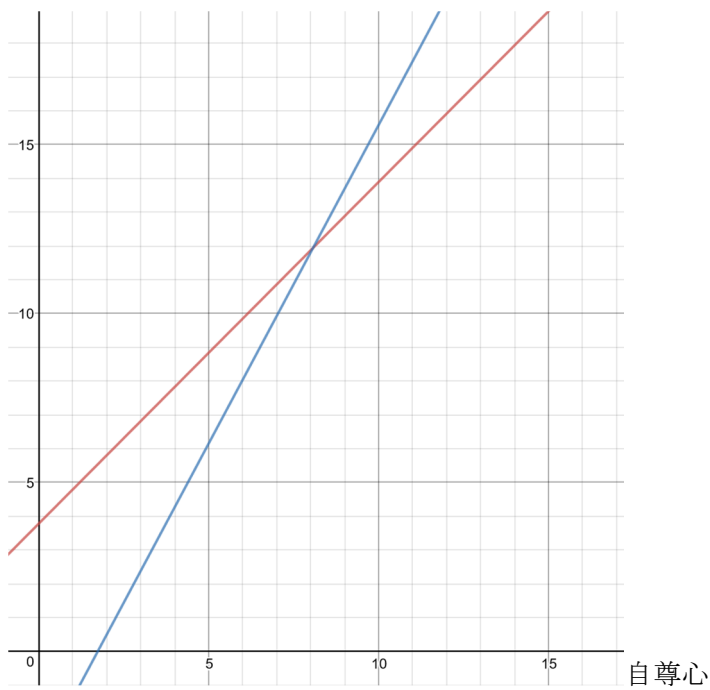
回帰統計	
重相関 R	0.266367
重決定 R ²	0.070951
補正 R ²	0.044407
標準誤差	15.79576
観測数	37

分散分析表					
	自由度	変動	分散	F	有意 F
回帰	1	666.9138	666.9138	2.672938	0.111031
残差	35	8732.707	249.5059		
合計	36	9399.621			

	係数	標準誤差	t	P-値	下限 95%	上限 95%	下限 95.0%	上限 95.0%
切片	-3.27029	11.48326	-0.28479	0.777485	-26.5825	20.04197	-26.5825	20.04197
X 値 1	1.884813	1.152853	1.634912	0.111031	-0.4556	4.225229	-0.4556	4.225229

自尊心（説明変数）の単回帰分析

プレゼント



承認欲求が弱いグループ

承認欲求が強いグループ

考察

1～6の分析方法の中では、6の回帰分析の結果が一番統計的に有意（有意水準約90%）である。

X1のp値： 0.095（承認欲求の弱いグループ）、0.011（承認欲求の強いグループ）から、承認欲求の強弱によって自尊心がプレゼントにかける値段と手間に与える影響が変わることが分かる。6の結果によると、承認欲求の弱い人よりも承認欲求の強い人のほうがプレゼントにかける値段と手間が自尊心によってより著しく左右されることが分かる。承認欲求が強い人は、自分自身を高く評価する場合恋人にも自分を高く評価してほしいため、プレゼントに手間をかけて喜ばせようとするため、このような結果になったと考える。

上記の考察だと、当初の仮説とは少々異なる結果となるが、自尊心と承認欲求は恋人へのプレゼントにおける経済行動に影響を与えと言える。

今後の予定

アンケート調査を続行し、標本数を増やす。また、再度回帰分析を行い、標本数の増加に伴って有意性が高まるか見る

加えて、韓国人、アメリカ人にも同じアンケートを配り、地域間で経済行動に差があるかを調べる

JEL分類番号：Z10

キーワード：自尊心、承認欲求、恋人、プレゼント、世界観

付録：実際に使ったアンケート質問票

1. 今の自分の外見を評価するなら

悪い

1

2

良い

2. 今の自分の性格を評価するなら

悪い

1

2

良い

3. 今の自分の知性を評価するなら

無知

1

2

博識

4。自分の周りの友人と比べて優れている部分は多いか
少ない

1

2

多い

5。自分は周りの役に立っていると感じる
全く感じない

1

2

とても感じる

6。自分自身、今の自分に満足している
全くしていない

1

2

とても満足している

7。自分の好きところが嫌いなところより多く思い浮かぶ

no

1

2

yes

8。寂しがり屋だ

はい

1

2

いいえ

9。嫌われるのが怖い

はい

1

2

いいえ

10。劳いの言葉や感謝の言葉をかけられると、もっとやる気を感じる
一切感じない

1

2

とても感じる

11。SNSで投稿でいいねの数が気になる

全然気にならない

1

2

とても気になる

12。自分のことを必要としてくれる人の存在に強い生きがいを感じる
全く感じない

1

2

とても感じる

13。自分の存在意義は周りによって左右される

いいえ

1

2

はい

14。友人、家族、恋人に認められたくてついつい無理をしてしま
うしない

1

2

する

15。恋人にプレゼントする時、一回（誕生日・クリスマス）に平均いくら使いますか？

単位：円

数字で教えてください（例：6000 or 10000）

16。いいことや頑張ったことを褒めてもらいたくて周囲の人に話すか

全く話さない

1

2

よく話す

17. 平均月の所得はいくらか？（単位：円）

仕送りなどを含めて！

18. プレゼントを選ぶとき、周囲の人にどのくらい相談しますか

しない

1～2人

3～5人

5人以上

19. プレゼントで周りの友人に協力してもらったことがあるか

ある

ない

20. プレゼントを選ぶとき店・サイト訪問のリサーチをいつから

当日

前日～3日前

4日～1週間前

1～2週間前

3週間～1か月前

1カ月以上前

21. プレゼントを選ぶとき店・サイトなどのリサーチにどれくらい時間をかけるか

1時間未満

2～3時間未満

4～6時間

7時間以上

22. 手紙・メッセージを添えますか

はい

いいえ

23. ラッピング・演出にどれくらいこだわりますか？

全くこだわらない

1

2

3

4

¹自分の人格を大切にすゝる気持ち.また,自分の思想や言動などに自信をもち,他からの干渉を排除する態度.プライド.「自尊心を傷つけられる」

²人間は他者を認識する能力を身につけ,社会生活を営んでいくうちに,「誰かから認められたい」という感情を抱くようになる場合が多い.この感情の総称を承認欲求という.

³大垣昌夫,2014.行動経済学,有斐閣. Hilbert (2008)は,世界観を「ひとつの人々の集団が生活を秩序づけるために用いている,現実の性質についての認識,感情,判断に関する,基礎的な仮定と枠組み」と仮定した.